

本四備讃線耐震補強事業再評価委員会 議事要旨

日 時：令和4年12月12日（月）18:00～19:45

場 所：四国旅客鉄道株式会社 本社

委 員：	四国経済連合会	大西 玉喜	専務理事
	鉄道総合技術研究所	坂井 公俊	室長
	徳島大学大学院	中田 成智	准教授
	岡山大学大学院	中村 良平	特任教授
	◎高知工科大学	那須 清吾	教授
	香川大学	野々村 敦子	教授

（◎：委員長）

- 議 事：
1. 開会
 2. 主催者挨拶
 3. 委員紹介
 4. 委員会規則（案）について
 5. 委員長の選定及び委員長挨拶
 6. 再評価内容及び対応方針（原案）について
 7. 今後のスケジュール
 8. 閉会

委員会意見：

対応方針（原案）のとおり、事業を継続することが妥当である。

委員会として、以下の意見を具申する。

- ・コスト縮減の努力は継続して必要であり、技術の進歩や現在想定していない既存技術の採用、労務費や資材価格の高騰、為替変動による物価変動等も考慮して進める必要がある。
- ・耐震設計について、特殊な構造物が故の高度な解析を実施するなどしており、解析結果をしっかりと実際の施工に反映する必要がある。
- ・工事の施工について難易度が高いと想定され、円滑な事業の推進のため、前広に施工方法等を検討して進める必要がある。
- ・「新幹線の地震対策検証委員会」の動向など、根拠となる耐震設計指針の見直しの動きなどがある場合、前広に情報を収集し、事業に反映する必要がある。

以 上